

SICシンポジウム2025

日本をシステムから考える 卓越システムで拓く豊かな未来社会

SIC戦略提言活動の報告
ーシステムイノベーションへの
新しい道を切り開く

主 催

一般社団法人システムイノベーションセンター (SIC)

開催日時

2025年9月9日(火) 14:00～17:00

終了後交流会 17:30～19:00

場 所

TODAホール 4Fコンファレンス会場 (実会場にて対面開催)
東京駅八重洲口より至近 <https://toda-hall.jp/index.html>

基調講演 「物理AIが拓くサイバー・フィジカル・ヒューマン・システム」
藤田 政之 (金沢工業大学教授、東京科学大学名誉教授)
SIC学術協議会主査



パネルディスカッション ーSIC戦略提言とその社会実装に向けて 各活動グループからの提言発出とディスカッション

- ヘルスケア：**「人生100年時代にふさわしいヘルスケア分野におけるシステム設計の提案」
- エネルギー：**「エネルギー移行を促進する連携構築のための新システムの提案」
- ロジスティックス：**「ロジスティックスのシステム（リーダーシップ、機能、ビジネス、空間）イノベーション」
- 金融：**「マイナンバー及びマイナンバー制度の利活用推進に向けた提言」
- 科学技術：**「現場を重視する科学技術政策を：研究室連携による卓越システム構築プロジェクトの提案」
- 科学技術：**「ソサエティ5.0へむけて豊かな社会を先導する科学技術イノベーションの創生へ」
- 防災・レジリエンス：**「『自助・共助・公助』を支える自律分散型の防災アーキテクチャ設計の提案」

* SIC戦略提言のページ： https://sysic.org/center_activity_cat/sic_proposal



一般社団法人
システムイノベーションセンター
Systems Innovation Center (SIC)



SICホームページ



SIC戦略提言のページ

シンポジウムの目的

システムが主役となっている社会で、よいシステムを作り出すことが難しくなっているという事態は、現代社会が直面している大きな課題を提示しています。特にわが国では、システムを有効に構築・運用・進化させるために必要な水平統合への社会的な受容の度合いが海外と比べて小さい。システムイノベーションセンターでは、2019年1月の発足以来この水平統合のテーマを掲げ、産業界の視点から愚直にこのことを主張し続けてきました。最近では我々の主張が認識され始め、「卓越したシステム」を構築するにはどうすればよいかが真剣に議論されるようになってきました。

このような状況に鑑み、今の日本にどのようなシステムを構築すべきか、日本のシステム構造をどのように作りあげていくべきかを、システムイノベーションセンターでは各分野にわたって検討を重ね、特に、ケーススタディとして以下の6つのテーマを設定し、それぞれワーキンググループを設置して、ほとんどすべての会員企業からメンバーの参画を得て、戦略提言へとまとめる活動をしてきました。

(1) ヘルスケア、(2) エネルギー、(3) ロジスティックス、

(4) 金融、(5) 科学技術、(6) 防災・レジリエンス

今の日本にどのようなシステムを構築すべきか、日本のシステム構造をどのように作りあげていくべきかを、我々のこれまでの経験を踏まえて、この度、これらの6つのテーマにて提言がまとまりました。

そこで、このシンポジウムを開催し、これらの提言の基盤となる基調講演と共にパネル形式にて各提言を発出し、

1. 各戦略提言を卓越システムとして実現するための要件、社会受容性を高めるための施策等の社会実装への具体論
2. 各戦略提言での提案を俯瞰的・システム的な方法論としてを見たときの、そのシステムアプローチの有効性
3. CPHS・CPSS（人や社会を中心としたサイバーフィジカルシステム）を基調としたレベルからの、提言に対する評価

を、外部からのコメンテーターと共に、議論をしていきます。

この提言が、「失われた30年」の次の「得られた30年」を切り開く産学官の努力の結節点となることを期待します。

シンポジウムの開催形式

3年間にわたり全SIC会員が参画してきた「SIC戦略提言」活動の総括をする目的で、「日本をシステムから考える」をテーマに、基調講演と豊かな未来社会を拓く卓越システムの在り方についてのパネルディスカッションを行います。全員が対面での議論に参加する実会場形式で開催します。

プログラム

14:00~14:10

オープニング: 主催者挨拶、趣旨説明

SIC代表理事・センター長 浦川 伸一

基調講演

「物理AIが拓くサイバー・フィジカル・ヒューマン・システム」

SIC学術協議会主査 藤田 政之

14:10~15:00

講演要旨 システムとは「共に立てる」がもともとの意味であり、その考え方は社会的課題への挑戦に欠かすことができない。Society 5.0の中核となるサイバーフィジカルシステム（CPS）はまさしくサイバーとフィジカルを共に立てることを目指したものであった。一方これまでAIは思考することを中心に発展してきたが、現実世界で物理的に行動させるための物理AIに注目が集まっている。本講演では、人間という要素をもはや抜きにすることはできない社会的課題について分析し、新しい物理AIによるCPSと人間（Human）を繋ぐサイバー・フィジカル・ヒューマン・システムの構築について考察する。

パネルディスカッション

モデレーター SIC理事・実行委員長 松本 隆明

「SIC戦略提言」各テーマグループから、活動内容と提言を紹介すると共に、豊かな未来社会を拓く卓越システムの在り方について提案をします。

ヘルスケアWG: 山本 義春（東京大学）

エネルギーWG: 船橋 誠壽（横幹連合）

ロジスティクスWG: 藤野 直明（野村総合研究所）

金融WG: 藤井 紳也（SOMPOシステムズ）

科学技術WG: 出口光一郎（SIC）

ほか、SIC戦略提言活動の関係者

全体ディスカッション

コメンテーター: 藤田 政之（金沢工大） 青山 和浩（東京大） 遠藤 薫（学習院大） 浦川 伸一（SIC）

17:30~19:00

交流会

参加申し込み

参加費: シンポジウム 無料。交流会 2,000 円。
(本シンポジウム案内ページ https://sysic.org/center_activity/4554.html
を参照の上、SIC イベント参加申込みページよりお申し込みください。)

問い合わせ

一般社団法人 システムイノベーションセンター（略称：SIC）
事務局 所在地: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-7 ストック新宿 B-19 号
電話: 03-5381-3567 E-mail: office@sysic.org HP: <https://sysic.org>



シンポジウム
案内ページ



イベント参加
申込みページ

SIC会員

正会員: SCSK株式会社・NTTコムウェア株式会社・株式会社NTTドコモ・株式会社クエスト・株式会社構造計画研究所・株式会社国際電気・株式会社J SOL・株式会社東芝・株式会社ニューチャーネットワークス・株式会社野村総合研究所・株式会社日立産業制御ソリューションズ・株式会社日立システムズ・株式会社日立製作所 研究開発グループ 社会システムイノベーションセンター・損害保険ジャパン株式会社・東京電力パワーグリッド株式会社・日本郵船グループ 株式会社MTI・三菱電機株式会社・ロジスティック株式会社・日鉄ソリューションズ株式会社・マツダ株式会社・横河電機株式会社

準会員: アメリス株式会社・東京ガス株式会社・電脳バンク株式会社・三菱重工業株式会社 デジタルイノベーション本部

(企業名50音順)

2025.7.3